

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第 85 号 (2014. 4. 1)
事務局川西地区自主防災会

平成 25 年度自主防災活動・結成促進 フォローアップ事業の「評価委員会」を開催

3月20日(木) サポートビル 5F の BB スクエアにおいて、香川大学危機管理研究センターの白木センター長、県の危機管理課長、高松市の危機管理課長等の評価委員によって、平成 25 年度かがわ自主ぼう連絡協議会が取り組んだフォローアップ事業の取組み成果等について、意見交換を行ない、来年度からさらに充実した取組みとなることを前提に熱い委員会審議となりました。



活動報告 訪問組織数：63組織

地区	訪問	研修	訓練
高松市	21	0	1
坂出市	2	0	1
観音寺市	10	6	4
さぬき市	11	2	2
三豊市	6	2	4
小豆島町	5	0	0
宇多津町	1	0	1
綾川町	1	0	0
琴平町	2	1	1
まんのう町	4	2	1
計	63	13	15

活動報告 この事業による効果等

1. 3世代が力を合わせての初めての防災訓練が行え、地域の力強さや絆を感じることができた（自治会長、公民館長）
2. 地域の行事に合わせて昼夜を問わず防災研修を気軽に対応してくれる（自治会長）
3. 訓練のどの種目をとっても最後まで丁寧に指導してくれる。また、同じ立場の人で親近感がある（婦人会役員）
4. 悪天候（大雨・大雪）の中でも最後まで指導いただき感謝している（PTA役員、自治会役員）
5. 他地域の事例など織り交ぜての指導・サポートは、多くの経験に裏付けされており、安心感がある。（学校関係者）
6. 毎年継続している訓練や研修を行っている組織（6組織）のほかフォローアップのいざなぎによって初めて実施した組織も13件あり、我々の働きかけの効果も県内に広がりつつあると認識

7. 実際に災害にあったことを想定し、多様な防災訓練を親子で体験。それも丁寧に指導いただき「命を守る大切さ」(自助)を学ぶと共に、互いに助け合う「共助」の精神の尊さを知ることができた。
8. 訓練の企画段階から、訓練用具やグループ編成、種目ごとのポイントなどすべてにわたって指導・サポートいただき校区で初めての訓練もうまく行えた。
来年も是非お願いしたい。 (地区社協関係者、公民館長)
9. 悪ふざけする生徒にも遠慮なく厳しく指導していただき、教員の立場から言いつらいが、防災訓練のみならず生徒指導にも大いに助かっている。
10. 事前打合せに気軽に参加していただき、訓練のみならず、地域の安全・安心にわたる広範囲の取り組みや経験を紹介してもらい、すごく勉強になる(自治会長、婦人会長)
11. 自主防災会が必要とする資機材の品目や数値、さらには経済的な購入方法など広範囲のコンサルタント業務も引き受けていただき助かっている(自主防災会、会長・役員)
12. 東日本大震災の支援活動の中から得た貴重な体験談から、今後の取組みへのアドバイスをいただき、このことをしっかりと地域の防災力に活かしたい。
(地域町づくり推進隊役員)
13. 各自治会の団結力が確認でき、更にかがわ自主ぼうのきめ細かな指導に大変分かりやすく、勉強になった(自治会役員、PTA女性役員)

粟井地区防災訓練

○ まちの概要

粟井地区は、観音寺市の東南周辺に位置し、南北に長い農村地域です。南は雲辺寺山を境に徳島県に接して、山間部谷間からの流れはため池等水源を容易に確保できた所です。しかし、風水害時にはその地形が災いして平成16年の台風時には、これまで経験したことがない土砂災害、傾斜地崩壊等が発生し、自然の猛威を強く感じたところでした。また、10万トン以上のため池3か所を有し、それらによる洪水被害も心配されるところでありため池のハザードマップにも高い関心がありました。

そんな粟井地区においても少子高齢化や核家族化とともに人口の減少が進んできており、一人暮らし、高齢者世帯等も増えつつあります。

8自治会、人口約1860人、地区で盛り上がるのは粟井神社秋季例大祭での太鼓台の運行です。また、30年以上前から地元有志により粟井神社に植え始めたあじさいがその数を増やしていき、今はあじさいの宮として毎年6月中旬に「あじさい祭り」が賑やかに行われています。



【 避難訓練 】

○ 訓練の概要

防災訓練への関心は、一昨年の夏ごろより情報提供等を通して、自主防災組織の実態

把握、組織強化、訓練の実施に向けられました。そして地域福祉活動計画の中でも、防災対策の充実を掲げ、地区社会福祉協議会として情報収集にとりかかりました。

昨年8月にかがわ自主ぼう連絡協議会より岩崎会長他を講師に招き自主防災についての研修(座学)を開催し、防災に対する意識の向上を図りました。また、この時期にため池ハザードマップの作成に係る意見収集の会が設けられたこ



【 バケツリレーによる消火訓練 】

とで、さらに防災に対する構えの必要性を強く感じました。11月には神戸市の「人と防災未来センター」を見学し地震災害の実情に触れて、防災対策がいかにあるべきかを改めて知らされました。

それらの成果を踏まえて、かがわ自主ぼう連絡協議会（川西地区自主防災会）の指導を受け、また地元消防団の全面的な協力を得て、粟井地区として初めて防災訓練を行いました。

訓練日は、時節柄避けられない行事等もあり、大半の小学生が参加できない状況の中ではありましたが、幅広い世代の参加があり自治会毎によく連携できていました。

訓練日時	平成24年3月9日（日）
訓練場所	粟井小学校運動場及び体育館
訓練参加人数	255名
訓練内容	・バケツリレー ・倒壊家屋からの救出訓練 ・土のう作り ・ロープワーク ・心肺蘇生及びAEDによる救護訓練 ・応急手当・搬送方法の習得 ・起震車等による体験 ・炊き出し訓練

炊き出し訓練以外は、7班（自治会毎）が1訓練15分を目途にローテーションしてすべての訓練を体験できるようにしました。また、薪による大釜での炊き出し訓練は、お互いに初めてということで連帯感の中にも真剣さが覗えて、担当した女性の皆さんからはとても意欲的な心持ちが感じられました。



【 倒壊家屋からの救出訓練 】

○ 訓練を終えて、皆さんの感想等

訓練に参加しての感想は、非常に良かった、良かったを併せると98%と、関心のあることが地区の人達とともに体験できて良かったことが表れています。

また、どの訓練が良かったかの結果は、①心肺蘇生・AED ②バケツリレー ③応急手当・搬送 ④倒壊家屋からの救出、ロープワーク の順となっており、救護に係ることに関心が高かったようです。

以下、具体的な意見としては下記のとおりです。



【 ロープワークによる救出訓練 】

- ・子どもにも判りやすい訓練をしてほしい (30 歳代 女性)
- ・継続することも大事です。より実践的な訓練も考えてほしい (60 歳代 男性)
- ・訓練により時間の長さの相違があり、今後の教訓としたい (70 歳代 男性)
- ・各自治会の団結力を見ることができました (70 歳代 男性)
- ・継続してほしい (30 歳代 男性)
- ・年寄りが気をつけること、どうすることが大切かを教えてほしい (70 歳代 女性)
- ・洪水のときの避難の対応をシュミレーションしてほしい (50 歳代 女性)
- ・毎年繰り返し行ってほしい。若い人たちにも参加を呼び掛けてください (50 歳代 女性)
- ・応急手当の方法をもっとやりたい (40 歳代 男性)
- ・応急手当、搬送のことについて何も知らなかったのが役立っていた (10 歳代 女性)
- ・分かっているようで分かり切れていなかったところがあった (40 歳代 女性)



【 心肺蘇生・AED操作による救護訓練 】

○ 今後に向けての抱負等

訓練を終えて、アンケート結果等から反省、今後を活かすべきこととしては、訓練内容は多様になっても防災・減災を念頭に継続して訓練を行っていくことです。大掛かりなものを目指すのではなく、催し等機会を捉えて訓練に応用できるように工夫する。やらなければならないが、練習すれば上手になるはず。地区においてモチベーションを共有し持続できるよう目指していきます。



【 炊き出し訓練 】

離任のご挨拶

元香川県危機管理総局長 松尾 恭成

このたびの人事異動により、農政水産部に異動することとなりました。危機管理総局での勤務は、1年と短期であり、後髪を引かれる思いです。

その間、皆様方には大変お世話になり、心からお礼申し上げます。

さて、県では、先月末に「香川県地震・津波被害想定（第四次公表）」を公表いたしました。今回は、南海トラフで数十年から百数年に一度発生する頻度の高い地震・津波について、死者数、遭難者数をはじめとする予想される被害についてお示ししており、今回の公表を以って予定していた項目についての公表を終えたところです。



今回の公表の対象である頻度の高い地震に関しても、発災直後の避難者数が最大で6万人近くへのぼるなど、大きな被害が想定されています。これに向けては、住民が一致協力し、地域において防災力を向上させていくことが喫緊の課題です。県においても、これに向け各種の施策を行っておりますが、かがわ自主ぼうの皆様方には、昨年度より「自主防災活動・結成促進フォローアップ事業」の実施をお願いしており、昨年度も多くエリアで、活動へのアドバイスや防災訓練の指導などの支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

最後になりますが、「かがわ自主ぼう連絡協議会」の今後益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご活躍を心からご祈念申し上げ、転任のご挨拶といたします。

元危機管理総局危機管理課長 河井 淳

かがわ自主ぼう連絡協議会の皆様には大変お世話になり、厚くお礼を申し上げます。各地の自主防災活動を知る機会が少ない中で、役員の方々とお会いできたこと、実際の活動内容等をお教えいただいたことは、貴重な財産です。

東日本大震災直後から危機管理課で勤務しましたが、常に緊張感があって、やりがいのある職場でした。微力ながら防災対策を推進してきたつもりですが、自然相手の防災にこれで十分ということはありません。

自主防災組織にしても、先ずは組織化、活動の充実が求められ、発災時の機動力、活動の継続性なども問われるようになります。協議会の皆様には、県内の自主防災組織の育成強化に格別のご尽力をいただいております、引き続きよろしく申し上げます。

結びに、かがわ自主ぼう連絡協議会の一層のご発展と、岩崎会長様はじめ関係の皆様のご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げます。

離任のご挨拶

元危機管理総局危機管理課課長補佐 植松 和弘

2年間という短い期間であり、一緒に活動させていただく機会はありませんでしたが、様々な機会に、皆様方の御活動を拝見させていただき、多くのことを勉強させていただきました。この数年、災害に対する考え方が大きく変容しており、防災・減災に向け、地域の中心となって活動される自主防災組織の皆様方に寄せられる期待はますます大きくなっていくものと思われまます。今後、この職場での経験を活かし、少しでも貢献できればと思います。皆様方のますますの御発展、御活躍を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

元危機管理総局危機管理課課長補佐 穴澤 孝雄

平成21年4月に配属されて以来、皆様方には、大変お世話になりました。本県にも大きな被害が発生すると想定されている南海トラフ地震の今後30年間の発生確率は、70%程度と大変高くなっています。このような中、他部局に異動しても、貴協議会との活動で得られた経験を活かし、防災への意識を高く持ってまいりたいと考えています。最後になりましたが、貴協議会の今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

元危機管理総局危機管理課課長補佐 森 隆

2年間でしたが、大変お世話になりました。東日本大震災以降、南海トラフがもたらす巨大地震による津波対応を図るため、各地域の自主防災組織の結成率が急激に伸びています。県内においても、協議会が実施している「自主防災活動・結成促進フォローアップ事業」などの活動により、活動カバー率が平成25年4月1日現在で76.0%と全国平均(77.9%)までもう一歩というところまで伸びてきました。このたび、危機管理総局を去ることになりましたが、皆様のこれまでのご尽力と県の防災行政へのご協力に感謝申し上げますとともに、協議会の今後益々のご発展をお祈りいたします。たいへんありがとうございました。

元危機管理総局危機管理課副主幹 西山 正敏

一昨年の4月に着任してから2年間、主に防災訓練の企画を担当させていただき、かがわ自主ぼう連絡協議会の皆さんとは各種防災訓練で共に活動させていただきました。特に、毎年恒例の総合防災訓練では、皆様のご活躍のお陰で無事、訓練を実施することができ、この場をお借りしましてお礼申し上げます。皆様方の活動を拝見し、防災・減災における対策で、いかに「自助」「共助」が大切かということを実感した2年間でありました。異動先でも地域住民の方々との連携を常に視野に入れ、職務に精勤する所存でございます。最後になりましたが、かがわ自主ぼう連絡協議会の益々の御発展と皆様方の御活躍を祈念して離任の御挨拶とさせていただきます。2年間、ありがとうございました。

元危機管理総局危機管理課副主幹 和田 州弘

この度、4年間の危機管理課勤務を終え、異動することとなりました。岩崎会長、吉原、川口の両副会長をはじめ、かがわ自主ぼうの皆様方には、時には生意気にも突きつけるやんちゃ坊主でありながら、長きにわたりお付き合いいただき、これを通じ多くのことを学ばせていただきました。お礼申し上げます。最後に一言「行政と自主防災組織もWIN・WINの関係で参りましょう」と申し上げてさせていただきます。

香川県危機管理課からのお知らせ
TEL 087-832-3187

「防災情報メール」配信を始めます!

これまでの「避難情報配信サービス」をリニューアルし、4月から「防災情報メール」の配信を始めました。

※避難情報配信サービスをご利用になられていた方も、改めて登録が必要です。

携帯電話等で事前登録しておけば、避難情報、気象警報・注意報、地震・津波情報などの、希望する情報がメールで配信されます。

外出先でもメールで防災情報が受け取れる便利なサービスです。ぜひ、登録を済ませて、皆さまの災害に対する備えや実際の避難などにお役立てください。

■登録方法

1. 携帯電話等のバーコードリーダー等で右のQRコードを読み込み、表示される「<http://info.bousai-kagawa.jp/>」に接続
2. 表示画面において、「登録/変更/解除」を選択
3. メール作成画面が表示されるので、そのまま送信
※迷惑メール対策でドメイン指定受信を行っている場合、「bousai-kagawa.jp」を追加して下さい。
4. 20秒程度で自動送信されてくるメール本文のURLに接続
5. 表示される画面の案内に従い、配信を希望する情報を選択し、ご登録ください。



<<防災情報メールの配信項目>>

■避難情報■

避難準備情報、避難勧告、避難指示

■気象情報等■

気象警報・注意報、地震情報、津波情報、土砂災害警戒情報
洪水予報（土器川・香東川）、避難判断水位到達情報（主要河川）
竜巻注意情報、記録的短時間大雨情報